

令和元年度第1回 多治見市浸水対策協議会会議要旨

日 時 令和2年2月20日（木）午後2時50分から午後5時00分

場 所 市役所本庁舎2階大会議室

出席者 12名（全員出席）

国土交通省中部地方整備局庄内川河川事務所長 西田将人

国土交通省中部地方整備局多治見砂防国道事務所長 植野利康

岐阜県河川課長 鈴木宏一郎

岐阜県多治見土木事務所長 名張誠

多治見市水防団長 柴田幸広

土岐川観察館長 山本真行

多治見市長 古川雅典

多治見市企画部長 鈴木良平

多治見市都市計画部長 細野道仲

多治見市水道部長 藤井憲

多治見市消防長 加地哲

多治見市建設部長 久野重徳

【現場視察】

- 平和町防災拠点施設整備、平和町調整池整備
- 土岐川左岸堤防
- 土岐川上流部右岸



【会議要旨】

1. 協議会委員の紹介

今回着任していただいた委員から自己紹介をいただく。

2. 多治見市浸水対策協議会について

多治見市浸水対策協議会の設置目的を確認する。

平成 23 年台風 15 号豪雨による浸水被害を受け、当該地域では国・県・市・地元及び学識経験者が連携して協議を行い、全国でもまれなスピードで浸水対策事業を完了し、目標である「平成 23 年台風 15 号豪雨相当降雨に対して床上浸水を概ね解消」を達成した。

災害時だけに関係団体が集まるのではなく日常的に集まって意見交換をしておくことが必要である。このため、多治見市全域に範囲を拡大して、新たに浸水対策協議会を設立し浸水対策を進めるほか、連携を密にすることで、有事の機動的な対応を確保していく。

併せて、土岐川上流部では、川に親しむまちづくりの観点での整備も検討していく。

3. 浸水対策実行経過への取り組み状況について

関係機関からの資料提出による浸水対策事業実施状況の報告があった。

委員から特筆すべき意見はなかった。

